

2015年2月4日

報道関係各位

大和ハウス工業株式会社
大阪市北区梅田3-3-5
代表取締役社長 大野直竹

■再生可能エネルギーの電源開発の拡大

電力小売全面自由化に向けて水力発電の開発に着手します

大和ハウス工業株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：大野直竹）は、株式会社東芝（本社：東京都港区、取締役 代表執行役社長：田中久雄）の子会社であるシグマパワーホールディングス合同会社と坂本土木株式会社（本社：岐阜県飛騨市、代表取締役社長：坂本重雄）との合弁で、水力発電事業会社である DTS 飛騨水力発電株式会社を 2014 年 12 月 22 日に設立し、水力発電事業に参入します。なお、当社が水力発電事業に参入するのは初めてとなります。

本事業は、岐阜県飛騨市宮川町において発電出力約 2MW の水力発電所を、2015 年 4 月（予定）より建設し、2017 年 11 月（予定）から売電を開始するものです。

年間予定発電量は 12,060MWh で、再生可能エネルギーの固定買取制度を活用し、発電した全電力を 20 年間、大和ハウス工業が新電力（PPS^{※1}）として全量買取し、電力小売事業の電力として法人企業に電力販売します。発電機は株式会社東芝製を使用し、土木工事および「（仮称）DTS 飛騨水力発電所」の運営管理については坂本土木が行います。開発にあたっては、地元の皆さまや関係各所にご協力とご理解をいただきながら進めていきます。

大和ハウス工業は、水力発電を再生可能エネルギーの中でも安定した発電電力量を期待できるものと考え、今回、当社初の水力発電事業に取り組むこととなりました。今後も創業以来培ってきた技術力を活かし、「風」「太陽」「水」の再生可能エネルギーの電源開発に積極的に取り組み、電力小売事業の拡大を目指します。

※1. Power Producer Supplier（特定規模電気事業者）の略。契約電力が 50kW 以上の需要家に対して、電力会社の電線を介して電力供給を行うことができる事業者のこと。

■「（仮称）DTS 飛騨水力発電所」（イメージ図）



【取水堰堤】

発電所に必要な水を引き込みます



【鉄管路】

発電所まで水を送ります



【発電所】

水車の回転により発電します

■水力発電所の概要


名 称	: 「(仮称) DTS (ディーティーエス) 飛騨水力発電所」
所 在 地	: 岐阜県飛騨市宮川町
発電出力	: 1,969.5kW 第一発電所 (970kW)、第二発電所 (999.5kW)
年間予定発電量	: 約 12,060MWh/年 (約 2,600 世帯分 ^{※2} の電力量に相当)
CO ₂ 削減量	: 年間約 7,000t (予定)
着工予定	: 2015 年 4 月
竣工予定	: 2017 年 10 月
売電開始予定	: 2017 年 11 月
事業期間	: 2017 年 11 月～ (再生可能エネルギーの固定買取制度後も事業を継続する予定です)
発電機	: 株式会社東芝製の水力用発電機
対象河川	: 一級河川神通川水系 宮川の支流
鉄管路長さ	: 全長 1,772m
発電事業者	: DTS 飛騨水力発電株式会社
設計・施工	: 株式会社東芝、坂本土木株式会社
総事業費	: 約 28 億円
年間売電売上	: 約 3.8 億円

※2. 経済産業省資源エネルギー庁「省エネ性能カタログ」掲載の数値 (家庭の一世帯あたりの全消費電力量を 4,734kWh/年とした場合) から算出。

■会社概要

会 社 名	: DTS 飛騨水力発電株式会社
代表取締役社長	: 六反田 則幸 (大和ハウス工業株式会社環境エネルギー事業部長)
本店所在地	: 岐阜県飛騨市古川町宮城町 443 - 1
出資会社	: 大和ハウス工業株式会社 (39.9%) シグマパワーホールディングス合同会社 (33%) 坂本土木株式会社 (27.1%)
資 本 金	: 426 百万円

【未来を、つなごう We build ECO】



私たちは、“未来を見据えた自主的な環境行動によって、常に社会をリードし、現在と未来をつないでいきたい”との思いのもと、すべての企業活動を通じて、地球温暖化防止や資源循環などの環境活動に取り組んでまいります。

以 上

お問合せ先		
広報企画室	広報グループ	06-6342-1381
	東京広報グループ	03-5214-2112

参考資料

■ 水力発電事業ならびに電力小売事業スキーム

